

# 米原市 平和祈念式典

戦没者の慰霊とともに  
恒久平和のまちづくり  
を願い開催します

**日 時** 8月5日(土)10時～  
**会 場** ルッチプラザ ベルホール310(米原市長岡1050番地1)  
**内 容** 黙とう、市内小中学生による非核・平和都市宣言の朗読など  
※新型コロナウイルス感染拡大前の規模で開催します。

**問** 市 社会福祉課 **☎**53-5123 **FAX**53-5119

## 非核・平和都市宣言

私たちのまち まいばら には  
青い空と緑にはえる山々  
清流のせせらぎ  
みのり豊かな田園  
母なるめぐみの湖(うみ)がある

まちかどや広場には  
子どもたちの歓声が  
若者たちの歌声が  
軒先からは人々の  
静かな語らいがきこえてくる

遠く海をこえた かなたにも  
同じ人々のくらしと  
しあわせがある

しかし 今  
地球をおおう核の脅威は  
あらゆる命のいとなみを破壊し  
かけがえのない平和を  
一瞬にして 奪いさろうとしている

私たちは 知っている  
核兵器が  
生きとし生けるもの  
すべてを破滅しつくして  
何も もたらさないことを

私たちは 知っている  
すべての人間が手をつなぎ  
平和な明日に向かって  
力をよせあうことが  
どんなに大切で  
すばらしいかを

悲惨なヒロシマ ナガサキの体験から  
核兵器を  
「持たず 作らず 持ち込ませず」の  
非核三原則を全世界に訴え  
戦争の放棄 恒久の平和を誓った  
平和憲法を  
私たちは 守ります

人々の明日にとって  
子どもたちの笑顔が  
若者たちの明るい未来が  
いきいきとした命のいとなみが  
永遠に続くことを願っている

私たちは 訴えます  
核を持つすべての国々に  
すべての核兵器を 今 すてよ！ と  
この市民の声と 願いを  
世界に広く訴えるため  
ここに米原市は  
「非核・平和都市」を宣言する

平成17年6月24日  
米原市

## 平和への願いを込めて

今年で戦後78年を迎えますが、核兵器の脅威は今なお、私たちに不安と悲しみをもたらしています。

私たちは、戦争は悲しみと憎しみしか生まないことを改めて認識し、次代を担う子どもたちへ核兵器の恐ろしさや平和の大切さについて継承していかねばなりません。

市では平成17年に「非核・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴え、これからも子どもたちへ平和の尊さを提唱していきます。

**問** 市 総務課  
**☎**53-5164  
**FAX**53-5148

市長  
コラム

## 市政言



ロシアのウクライナ侵攻によって、多くの命が失われ続けています。今なお、何百万人の子どもたちが、恐怖の中で眠りにつき、この残酷な戦争の終結を願いながら目覚める日々を送っています。戦争は決して過去のものではなく、今も起こりうるものという現実、平和の大切さを痛感しています。

日本は唯一の戦争被爆国であり、あの惨禍を繰り返してはならないことを世界へ訴え続けなければなりません。

非核・平和都市宣言を行ったまちとして、今年度、戦争犠牲者の名前を刻む「平和の礎」を建立します。核兵器の廃絶への意思表示、戦争を二度と起こさないという強い信念と平和の尊さ、平和憲法の大切さを、次代を担う子どもたちにしっかりと伝えていきたいと思います。

米原市長 平尾 道雄